

令和5年度 第2回江別市かわまちづくり協議会 会議録（要点筆記）

日 時：令和6年1月22日（月） 9：00～10：30

場 所：江別市民会館1階 小ホール

出席委員：小篠隆生会長、柏村章夫委員、天井一斗委員、林匡宏委員、境珠美委員（計5名）

欠席委員：鴻野徹副会長、林敏昭委員、武藤静香委員（計3名）

事務局：経済部長、経済部次長、経済部企業立地推進室長、経済部商工労働課長、総務部財務室契約管財課長、企画政策部都市計画課長、建設部管理課参事、建設部都市建設課長、建設部建築住宅課長、建設部土木事務所治水課長、教育部郷土資料館長、建設部管理課主幹、建設部都市建設課主幹、商工労働課主査（2名）、観光振興課主査、ほか1名

アドバイザー：江別河川事務所（4名）

傍聴者：なし

会議概要

（開会）

1 議事

（1）協議事項

ア 旧岡田倉庫の整備内容（説明：事務局 商工労働課）【資料1】【資料2】

- ・ 柏村委員：前回の協議会で暖房方式の話が出ていたと思うが、灯油を燃料とする床暖房を採用した理由を教えてください。
- ・ 商工労働課主査：日常的な利用を考え、常時快適な室温を確保できる床暖房を採用した。燃料については、ランニングコストが抑えられる灯油を採用した。屋外へ灯油タンクを設置することになるが、意匠に配慮すれば問題ないと考えている。
- ・ 小篠会長：協議会の下部組織としてワーキンググループを頻繁に開催して、協議会で決定すべき整備内容を協議して方針を出し、最終的に協議会でオーソライズしていくやり方でやってきたので、整備内容はある程度定まっていると言える。

（協議結果）

協議会として、資料の旧岡田倉庫の整備方針を承認・決定する。

イ 旧岡田倉庫周辺及び千歳川左岸堤防の整備内容（ランドデザイン）（説明：事務局 商工労働課）【資料3】

- ・ 林匡宏委員：現時点ではパースで示されているが、より具体的な設計内容や使用する素材によって雰囲気が変わってくると思う。今後、協議会が開催されるの

かわからないが、どういうタイミングで具体的な部分を確認することができるのか。

- ・ 商工労働課主査：今回の協議会では、全体の基本設計やデザインの方針を確認していただく。使用する素材等の詳細設計については今後実施し、令和6年度中に整備内容を決定する必要があるが、協議会やワーキンググループでどこまで具体的に検討するかを小篠会長とも相談した上で、事務局でワーキンググループ等の開催を検討したい。
- ・ 小篠会長：まだ設計は続いているので、詳細な内容が決まったら報告をする形になると思う。

(協議結果)

協議会として、資料の旧岡田倉庫周辺及び千歳川左岸堤防の整備方針を承認・決定する。

2 その他（説明：事務局 商工労働課）【資料4】

- ・ 小篠会長：外構については、開発局と江別市で整備する範囲が分かれているが、先に終了予定の開発局の設計内容は、協議会にどのように報告されるのか。
- ・ 江別河川事務所所長：先行して土工事を実施することとなっており、その工事に係る素材の選定の方針や設計内容については、令和6年度のワーキンググループの場で提示するとともに、協議会に諮っていくことで考えている。
- ・ 小篠会長：土工事の工程等について、近隣住民に事前報告をしてほしい。住民向けの工事の説明会は実施されるのか。
- ・ 江別河川事務所所長：説明会はする方向で考えたい。
- ・ 林匡宏委員：江別市の外構の設計は、いつぐらいのタイミングで開発局の設計に合ってくることになるのか。資料に記されているロードマップでは見えない。
- ・ 商工労働課主査：令和6年度に旧岡田倉庫の外構の設計に入る予定となっており、整備内容や使用する素材については、江別市の建設部と連携しつつ開発局と調整しながら、検討を進めていきたい。
- ・ 林匡宏委員：過去のワーキンググループで街灯や東屋を整備するアイデアが出ていたと思うが、実施の可否も含めて検討していく必要があると思う。結論が出ていない状況なので、検討して設計にどう反映するのか、スケジュールを教えてください。
- ・ 商工労働課主査：街灯や東屋など、付帯する設置物は江別市の整備区分になる。費用面を考慮しつつ、様々な意見をいただきながら、旧岡田倉庫の外構の設計と合わせて進めていきたい。
- ・ 小篠会長：土木発注と建築発注で材料や仕上げを揃えるのは、かなり大変なことである。どちらがイニシアティブを取って材料を決めて発注するか、施工段階に入る時にどのようにするか、技術的・手続的な話もあるので、年度内に1～2回設計会議を実施し、詰めの方針を決めるところまで持っていくことを提案する。
- ・ 小篠会長：令和6年度に実施予定の運営組織の公募・選定について、どのように進

めていくのかといった具体的な情報はないのか。ワーキンググループに提案することになるのか。年度末までの協議会とワーキンググループの予定が白紙なので、年度末から年度明けのスケジュールのイメージがあれば、教えてほしい。

- ・ 経済部次長：協議会もしくはワーキンググループで情報を提示し、いただいた意見を踏まえながら、江別市で決定する流れを想定している。スケジュールの部分については担当者と詰めている段階だが、スケジュールがタイトなので、小篠会長と相談した上で早急に進めていきたい。
- ・ 林匡宏委員：施設整備の設計や運営事業者の募集までこぎつけているが、かわまちづくりに関してはまだ話すことがたくさんある。施設整備が決まっているところは具体的な話が進んでいるものの、地域全体がうまく回っていくかも合わせて考えていく必要があり、大事なことである。現状、それを話せる場がかわまちづくりの協議会やワーキンググループしかない。
- ・ 経済部次長：かわまちづくり協議会だけで議論して全てを決定できるボリュームではないと思う。江別市内部には、江別駅前をどうしていくかなど、まちづくりについて議論する会議もあるため、当協議会で話し合った内容を共有し、連携をしながら進めていきたい。
- ・ 小篠会長：どこかで、条丁目地区のまちづくりに関する勉強会やワークショップをやって、そこで出た意見をまとめていくのも当協議会の役割だと思う。令和5年度まで実施してきた勉強会の役割がとても大事になってくる。

(閉会)

以上